

**2013年7月改訂(第6版)
*2011年5月改訂

散瞳・調節麻痺点眼剤

劇薬

リュウアト®1%眼軟膏

Ryuato®1% ophthalmic ointment

アトロピン硫酸塩眼軟膏

日本標準商品分類番号

871311

承認番号	14500AMZ01364000
薬価収載	1981年9月
販売開始	1970年7月
再評価結果	1977年7月

貯法：気密容器、室温保存
使用期限：外箱及びチューブに記載（3年）



〔禁忌(次の患者には投与しないこと)〕

緑内障及び狭隅角や前房が浅いなどの眼圧上昇の素因のある患者[急性閉塞隅角緑内障の発作を起こすおそれがある]

〔組成・性状〕

販売名	リュウアト1%眼軟膏
有効成分	アトロピン硫酸塩水和物
含量(1g中)	10mg
添加物	白色ワセリン、パラオキシ安息香酸ブチル、流動パラフィン
性状	白色～微黄色、無菌眼軟膏剤

〔効能・効果〕

診断または治療を目的とする散瞳と調節麻痺

*〔用法・用量〕

アトロピン硫酸塩水和物として、通常1%眼軟膏を1日1～3回、適量を結膜嚢に塗布する。

〔使用上の注意〕

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

小児[「6. 小児等への投与」の項参照]

2. 重要な基本的注意

散瞳又は調節麻痺が起こるので、本剤投与中の患者には、散瞳又は調節麻痺が回復するまで自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。また、サングラスを着用する等太陽光や強い光を直接見ないように指導すること。

3. 相互作用

〔併用注意〕(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
抗コリン作用を有する薬剤(三環系及び四環系抗うつ剤、フェノチアジン系薬剤、抗ヒスタミン剤等)	循環器系、精神神経系等の全身性の副作用があらわれるおそれがある。	相加的に作用(抗コリン作用)を増強させる。

4. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

副作用が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

全身症状があらわれた場合には投与を中止すること。

種類	頻度	頻度不明
過敏症		アレルギー性結膜炎、眼瞼結膜炎
眼		続発性緑内障、眼圧上昇
循環器		血圧上昇、心悸亢進
精神神経系		幻覚、痙攣、興奮
消化器		悪心・嘔吐、口渇、便秘
その他		顔面潮紅、頭痛、発熱

5. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので注意すること。

6. 小児等への投与

全身の副作用が起こりやすいので、幼児・小児には0.25%液を投与することが望ましい。

7. 適用上の注意

1) 投与経路：点眼用にのみ使用すること。

2) 投与時：

(1)点眼に際しては患者は原則として仰臥位をとり患眼を開瞼させ、結膜嚢内に点眼し、1～5分間閉瞼し、涙嚢部を圧迫させた後開瞼する。

(2)点眼後結膜嚢からあふれ出たものは拭きとるよう指導すること。

8. その他の注意

長期にわたり散瞳していると虹彩が癒着するとの報告がある。

〔薬効薬理〕¹⁾

散瞳並びに調節麻痺作用

若年成人(外国人)に1%アトロピン点眼液を1滴点眼したとき、30～40分以内に瞳孔径は最大となり、散瞳作用は12日間程度持続する。フェニレフリン等の交感神経興奮薬と併用すると散瞳作用は相加的に増強される。

調節麻痺作用は点眼後数時間で最大となり、2週間もしくはそれ以上持続する。また、ホマトロピンに比べて作用の発現は遅く、効果が長く持続する。

なお、最大の調節麻痺作用を得るためには、通常、1日3回3日間の点眼が必要である。

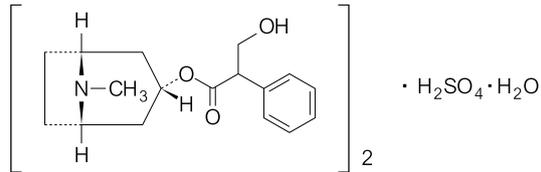
〔有効成分に関する理化学的知見〕

一般名：アトロピン硫酸塩水和物 (Atropine Sulfate Hydrate)

化学名：(1R, 3r, 5S)-8-Methyl-8-azabicyclo[3. 2. 1]

oct-3-yl[(2RS)-3-hydroxy-2-phenyl]propanoate hemisulfate hemihydrate

構造式：



分子式：(C₁₇H₂₃NO₃)₂ · H₂SO₄ · H₂O

分子量：694.83

性状：本品は無色の結晶又は白色の結晶性の粉末で、においはない。

本品は水又は酢酸(100)に極めて溶けやすく、エタノール(95)に溶けやすく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

融点：188～194℃(分解)。乾燥後、180℃の溶液中に挿入し、1分間に約3℃上昇するように加熱を続ける。

本品は光によって変化する。

〔取扱い上の注意〕

＜安定性試験＞

最終包装製品を用いた長期保存試験(室温、3年間)の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、本剤は通常の市場流通下において3年間安定であることが確認された。

〔包装〕

3.5gチューブ入

〔主要文献及び文献請求先〕

＜主要文献＞

1) W. H. Havener : Ocular Pharmacology 4th Ed., p244 (1978) [53434]

＜文献請求先・製品に関するお問い合わせ先＞

参天製薬株式会社 製品情報センター
〒530-8552(個別郵便番号) 大阪市北区大深町4-20
TEL 0120-921-839 06-6321-7056
受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

